

R4 開始

おおだし
大田市（島根県）～主な品目～
水稻

実施体制

大田市、島根県、JAしまね、認定農業者等、有機米生産グループ
大田市農林業振興協議会、大田市農業委員会 等

面積情報

有機農業取組面積：5 ha 耕地面積に占める割合：0.2 %

（令和3年度末時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大（水稻）	R3年度 2.2ha	→	R7年度 6 ha
有機農業の取組面積の拡大（野菜）	R3年度 0 ha	→	R7年度 10 ha
有機農産物の販売数量の拡大	R3年度 7.7t	→	R7年度 93t
有機農業に取り組む新規農業者数の増加	R3年度 3経営体	→	R7年度 10 経営体

2 有機農業を拡大していく上での課題

- ・雑草の繁茂による生産量の低下
- ・不透明な生産技術の見える化

拡大をはばむ雑草の紹介

- ・コナギ、ノビエ（7月～8月）

【対策】

紙マルチによる繁茂の抑制



▲繁茂したコナギ

3 課題に対する取組のポイント・成果

- ・ベジタリア（株）と連携したスマート栽培暦の開発
- ・水田除草機の実証
- ・三菱マヒンドラ農機（株）と連携した紙マルチ田植機の実証

【取組による定量的な成果】

有機面積拡大 R3：2.2ha → R5：7.2ha

ポイントとなる技術

- ・紙マルチをほ場に敷いた状態で田植を行うことにより、雑草の繁茂を抑え、その後の除草作業の省力化を図る

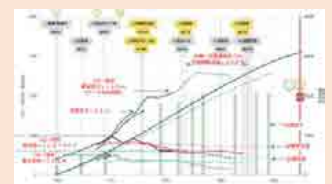


▲専用の機械で紙マルチを敷き、田植を行う

4 主な取組内容

①生産

- ・ベジタリア（株）と連携したスマート栽培暦の開発
- ・水田除草機の実証
- ・三菱マヒンドラ農機（株）と連携した紙マルチ田植機の実証



▲スマート栽培暦による見える化

②加工・流通

- ・集荷場所の確保及び保管、物流会社との連携など、JAしまねと最適な集出荷方法を確認するための検討会を開催

③消費

- ・市内保育園への有機米の提供を通したPRによる消費喚起



▲ほ場に設置されたAIカメラによりデータを収集し、スマート栽培暦を作成